

**株式会社あかね福祉様が「SDGs宣言書」を策定されました！**  
 ～「とうほうSDGsサポートサービス」による「SDGs宣言書」策定支援～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、お客さまのSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する取組みを支援するため、「とうほうSDGsサポートサービス（以下、本サービスとします）」をご提供しております。

この度、本サービスの利用を通じ、株式会社あかね福祉様が「SDGs宣言書」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本サービスは、対話を通してお客さまのSDGsへの取組状況の確認と、経営課題の見える化を行うことで、お客さまの課題解決に向けた具体的な取組みをサポートしております。

また、診断結果に基づく「SDGs宣言書」の作成により、お客さまの特色ある取組みを発信するとともに、社会全体でのSDGsの機運も高めております。

当行では、引続きお客さまのニーズに応じたサービスを提供し、お客さまの成長・発展、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

発行企業	株式会社あかね福祉
代表者	代表取締役 水橋 洋平
所在地	福島県郡山市安積町荒井字雷神16番地1
事業内容	福祉用具の販売・開発・メンテナンス・用具活用に関する研修指導
企業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉施設のパートナー企業として「あなたの喜ぶ顔がみたい」をモットーに、福祉用具定着の伴走支援を通じた介護の魅力作りを支援しております。</li> <li>●福祉用具の開発や研修事業へ更に注力することで、介護する側・される側双方の喜びを創出できるよう、社員一丸となって取り組んでまいります。</li> </ul>



宣言書を手にする水橋社長



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。



# SDGs宣言書

2024年3月2日

## 株式会社あかね福祉

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
人権・労働	人材育成 健康経営	<p>〇「みんなの会社・定年80歳」をモットーに、人材育成、健康経営を大切にし、社員一人ひとりが「福祉用具の職人」として、いつまでも誇りを持った仕事ができる組織づくりを遂行してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●月2回の社員勉強会を実施。勉強会の年間スケジュールを作成し計画的に取組むとともに、事業所間の営業交流により効果的なスキルアップを目指してまいります。</li> <li>●「福祉用具師」という社内独自の資格を設け、福祉用具活用に係る専門性、提案力の向上に取組んでおります。2025年1月までに「福祉用具師」の取得率100%を目指してまいります。</li> <li>●メンタルヘルス疾患を予防するために、メンタルヘルスチェックの取組みとフォローの実施を行い、2025年1月までに医師面接指導者0%を目指してまいります。</li> </ul>	
環境	脱炭素・省エネ	<p>〇脱炭素・省エネ社会の実現に向け、環境へ配慮したサステナブルな事業活動を行ってまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社内に「SDGs委員会」を設置し、2024年7月までに事業所毎の電気・ガス・水道及びガソリンの使用料の把握・グラフ化による見える化を行うとともに、社員全員で無駄なエネルギーの消費を削減する取組みを行ってまいります。</li> <li>●燃料代・環境負荷を下げる取組みとして、営業車のハイブリッド車導入を実施しております。今後、2030年1月までにハイブリッド車導入率を100%にしております。</li> </ul>	
内部管理 組織体制	経営理念 DX推進 情報収集・開示	<p>〇「アイケア」の理念の基、当社に関わる全ての人の「あなたの喜ぶ顔が見たい」の更なる実現に向け、DX化、情報収集・開示体制構築に取組んでまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月「経営計画書」を策定し、役職員全員が経営理念と経営方針を共有しております。</li> <li>●当社指針や社員・スタッフが守るべき事項や目指すべき姿を「あかね福祉の指針と社内ルール」としてまとめ、配布することで、当社指針や目指すべき社員像を周知しております。</li> <li>●社内手続きの効率化や、福祉施設向け通販サイト「ナチュラル」等の利便性向上を図り、DX化に取組んでまいります。</li> <li>●福祉用具を学ぶ研修施設「TAC」（テクニカルエイドセンター）の運用、当社YouTube「動画でわかる福祉用具チャンネル」の継続的な更新により、福祉用具に関する情報収集・開示に向けた継続的な取組みを行ってまいります。</li> </ul>	
製品・サービス	社会課題の解決	<p>〇当社は「福祉用具」というリソース（資源）を最大限に活かすことで、深刻化する介護人材不足という社会問題を解決し、障害と向き合う人々の生活を支え、健康と福祉を提供してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉支援事業：福祉用具を学ぶ研修施設「TAC」（テクニカルエイドセンター）を運用し、介護をする側・される側の「喜び」を創出し、「介護の魅力作り」を応援しています。設置済みの本社と盛岡営業所の他、2026年5月までに全事業所への設置を目指してまいります。</li> <li>●メーカー事業：介護する方の腰痛を防止するための「移乗です」を開発。全国に向けた販売を行い、2025年7月までに累計出荷台数100台を目指してまいります。</li> <li>●在宅支援事業：介護をする側・される側の「心」に寄り添い、最適な福祉用具の選定、貸出、販売を行ってまいります。</li> <li>●WEB事業：販売だけを目的にせず、お客様の困り事や相談を受け、必要な情報をブログを始めとしたSNSで定期的に発信してまいります。</li> </ul>	
社会貢献 地域貢献	地域づくり	<p>〇地元住民や自治体との交流・PR活動を通じ、高齢化社会の中で安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎週月曜日に事業所周辺のゴミ拾いを実施してまいります。</li> <li>●事業所周辺地域の防災・減災、防犯の計画や取組みへの継続的な関わりを持ち、2030年1月までにこれらの取組みをSNS等でも発信してまいります。</li> <li>●メディア発信を通じて、取引先福祉施設の取組み等に関するPRを行い、介護福祉業界に対する理解促進を図ることで、地域づくりへ貢献してまいります。</li> </ul>	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール(目標)と169のターゲットのことで、2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。